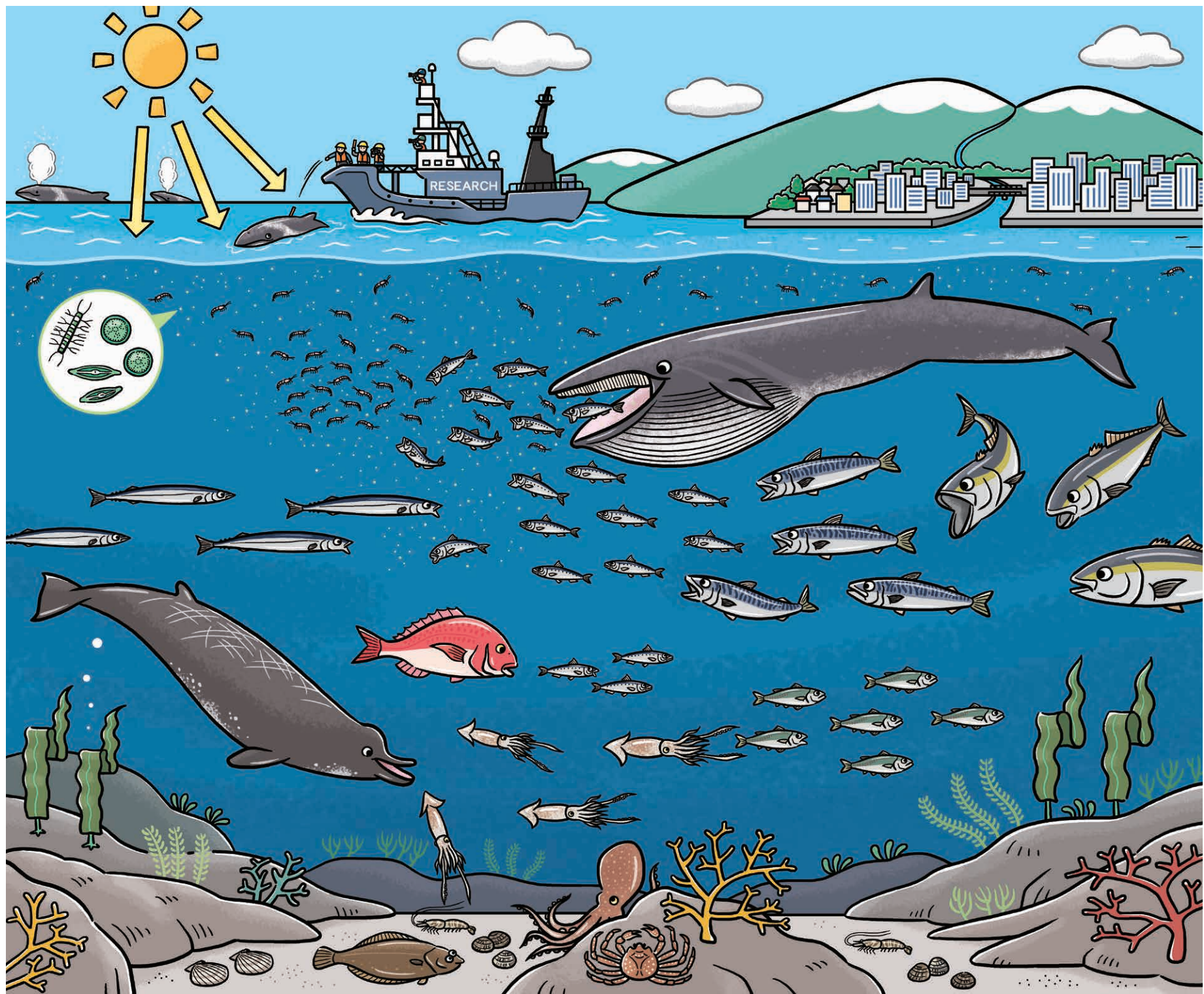


海と空と陸はつながっている

海の生き物を上手に食べれば豊かな海を守ることにつながります



地球に命があふれる理由は太陽にあります。海の生き物は、どれも私たちにとって貴重な資源で、海の生態系は食物連鎖のバランスを保つことで守られます。海のプランクトンは光合成をして増え、それを食べて成長する小魚からクジラまで、太陽がある限り、自然に増えますが、どの生物も減らないよう、捕りすぎでないことを種類ごとに確認し続ける必要があります。さまざまな調査、研究方法があり、例えば目視調査では、目で見えて数えることを繰り返すことで、見えない海の中のクジラの数も調査します。



食物連鎖の頂点にいるクジラは、魚やイカ、オキアミなどを食べ、種類によって食べるエサも違います。

日本鯨類研究所は海の生態系を守るために、貴重な水産資源であるクジラの生態と環境を調査しています。

日本近海ではクジラの数が増えないように調査も行われ、捕鯨で鯨肉が生産され皆さんの食卓に届きます。